

2023年1月1日～2023年7月31日の間に 薬剤師外来で面談を受けられた方及びご家族の方へ

「がん化学療法の薬剤師外来による疑義照会の実態調査」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学総合医療センター	薬剤部	薬剤師	長門	亜侑
研究分担者	川崎医科大学総合医療センター	薬剤部	薬剤師	三宅	真史
	川崎医科大学総合医療センター	薬剤部	薬剤師	川西	仁美
	川崎医科大学総合医療センター	薬剤部	薬剤師	渡辺	麻里子

1. 研究の概要

当院では2016年より薬剤師外来を開設し、主に経口抗がん剤を内服中の方に対し診察前に薬剤師による面談を行っています。院外処方箋の割合は3.3%と薬剤師外来で面談を受けられた方の薬のほとんどが院内で調剤されています。そのため、当院薬剤師外来では診察前面談のみではなく診察後の処方内容の確認、薬剤の説明、自宅でのサポート等の役割も担っています。

今回は薬剤師外来において薬剤師がどのように関わっているかについて調査し、その実態と課題を検討します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2023年1月1日～2023年7月31日の間に川崎医科大学総合医療センターの薬剤師外来で面談を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2024年10月1日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において薬剤師外来で面談を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに薬剤師がどのような介入（医師への処方提案・確認、薬剤の説明）を行ったのかを調査します。

4) 使用する情報の種類

情報：検査値、処方薬剤、副作用等の発生状況、治療歴 等

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学総合医療センタ

ー薬剤部内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2024年3月1日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学総合医療センター 薬剤部

氏名：長門 亜侑

電話：086-225-2111 内線：80303（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-232-8343

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。